学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	課題研究	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

3年間の集大成として、専門知識・技術を深化・統合させる科目です。進路に合わせ「写真・ビデオ・マルチメディア」から選択し、自ら設定した課題の研究を通して新しい表現の可能性を追求します。班別実習や全体プレゼンテーションを通じ、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養います。全コース共通で工芸高校展に向けた写真制作も行い、学びを独自の表現として結実させます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

専門知識を統合し、設定した課題に有効な技能を選択、科学的根拠に基づき研究・習得する。

【思考力、判断力、表現力等】

課題を多角的・科学的に分析し、主体的かつ協働的に新しい表現を追求して合理的に解決を図る。

【学びに向かう力、人間性等】

映像デザインの社会的意義を自覚し、分野の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	映像デザイン分野の社会的意義や技術との関わりを深く理解した上で、自ら設定した課題に対して有効な解決手段となる技能を選択し、研究・習得する力を評価する。これまでに学んだ専門知識と技術の深化・統合を図り、機材やアプリを安全かつ合理的に使いこなして、計画的に作品制作を進める技能の習熟度を重視する。	映像デザインに関する課題を自ら発見し、科学的根拠に基づいて技術の進展に対応しながら解決する力を評価する。制作工程において分析・検討を繰り返し、適切な思考・判断を行って新しい表現の可能性を追求する能力を重視する。客観的な視点を持ち、創意工夫を凝らして論理的に作品を構成し、意図を的確に伝える表現力を評価対象とする。	広い視野を持ち、映像デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を評価する。身近な映像メディアに関心を持ち、意欲的な情報収集を通じて自己の作品に反映させようとする探究心を重視する。自ら設定した課題の解決に向け、粘り強く分析や試作を繰り返し、プレゼンテーション等を通じて他者と切磋琢磨しながら学びを深める態度を評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
課題研究（コース選択）	コンセプトワーク・試作	各自の進路目標に合わせ、「写真」「ビデオ」「マルチメディア」の3コースから選択し、1・2年次で習得した知識・技術を統合して、自ら設定したテーマについて深く研究・制作する。 制作の目的や新しい表現の可能性を追求するためのコンセプトワークを行い、試作を繰り返する。自身のアイデアを具現化するための適切な技術を選択し、計画を立案する。	a:自ら設定した課題に対し、有効な解決手段となる技能を自ら選択・研究し、習得している。 b:映像デザインに関する課題を自ら発見し、科学的根拠に基づいて技術の進展に対応しながら解決策を導き出している。 c:映像デザインに関する広い視野を持ち、課題解決に向けて主体的かつ継続的に取り組む姿勢を持っている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
	本制作・プレゼンテーション	中間発表を通じて進捗を共有し、他者からの意見を取り入れて作品をブラッシュアップしながら、本制作に励みます。機材やアプリケーションを安全かつ合理的に使いこなし、高度な映像表現を追求する。	a:作品制作の全工程を計画し、合理的な手順で質の高い作品を完成させる実習技能を身に付けている。 b:プレゼンテーションや展示作品制作において、自身の意図が客観的に伝わるよう、創意工夫を凝らして構成・表現している。 c:プレゼンテーション等を通じて他者と意見を交わし、相互に切磋琢磨しながら映像デザイン分野の発展に主体的・協働的に貢献しようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
工芸高校展作品制作	工芸高校展作品制作	工芸高校展に向けた自由写真作品の制作を行い、展示を通じた視覚伝達の効果を学ぶ。	a:これまでに学んだ専門知識と技術を深化・統合させ、機材やアプリケーションを安全かつ効果的に使いこなして作業を進めることができる。 b:制作工程において適切な思考・判断を行い、既成概念にとらわれない新しい表現方法や可能性を論理的に追求している。 c:身近なメディアや技術の動向に意欲的に関心を持ち、収集した情報や分析結果を自らの作品に積極的に反映させようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度